



今月の この人クローズアップ  
阪野 俊治 センター長

# CRF通信! (仮)

## vol. 1 2009年 10月号

お疲れ様です！飛ばない豚、齊藤です。  
社内報が予想以上に反響が大きかった  
ことに対して、半ば怯えながら日々を過  
ごしております。

さて、今回はプレゼンの意味で非公式の  
「0号」をお届けしましたが、今回からが  
一応正式に「1号」となります。まずは一  
面(?)で阪野センター長へのインタビュー  
を掲載しております。毎号このような感  
じで、どなたか(もちろんCOMも含め)へ  
のインタビューをメイン記事に、その他C  
RF内外、公私織り交ぜてその時々の出  
来事を掲載していきます。  
では第1号はりきって行きましょう！

### Q 1 . 好きな音楽を教えてください！

藤岡藤巻の、サラリーマンの枠を超えた全方位オヤジアルバム。  
定年が目前に迫っているので「送られる言葉」はひそかに練習中です。  
あと、ユーミンのアルバムは全部持ってます。

### Q 2 . 好きな映画を教えてください！

「男はつらいよ」シリーズ。全48作 + 特別編は家族全員が観賞済みです。  
テレビ放送があるときは、わざわざメールでお知らせが到着します。

### Q 3 . 好きな本・マンガを教えてください！

チャンバラ系の文庫本。  
鳥羽亮、坂岡真、小杉健治、風野真知雄の作品を週5冊以内とペースを定めて読んでいます。  
ホントは戦国ものが好きなのですが、ブームの真っ只中なのでちょっと引いています。

### Q 4 . その他好きなものをなんでも教えてください！

高いところに登ること。  
昔から親父に「バカと煙は高い所に登りたがる」と説教されてきましたが、未だに好きです。  
役職柄、対外的には「登山」が趣味ですと答えています。7月に鳥海山に登ってきました。

### Q 5 . 昨日の晩御飯のおかずは何ですか？

とんかつ。本日は胸ヤケしています。  
どなたか良い油を使っているとんかつ屋さんを紹介してください。

### Q 6 . 宝くじで1,000万円が当たりました。何に使いますか？

ボランティア。あぶく銭は身を滅します。

Q7 . とっておきのダジャレを教えてください！

面白い話をひとつ。

「あの犬、白いね」「尾も白いね」

この小話は、幼稚園児だった娘に大ウケでした。

高校生になった今でも、機嫌の悪い時の秘密兵器として使っていますが、同様にウケてくれます。

Q8 . カーBOXの、別居の未婚の子の補償についてどう思いますか？10文字以内で教えてください！

転勤族には大変有効だ！

Q9 . その他社内報の場を使ってアピールしたいことがあればどうぞ。

秋田の夕焼けは最高です。

みんなの「夕焼け」情報(おすすめスポット)待ってます。

記念すべき第一回は、阪野セン  
ター長にお話を伺いました！

### 家族ぐるみでユキミン

まずは1の質問、好きな音楽に  
ついて。「定年」という年齢には全  
く見えなかったので軽く驚いてし  
まいましたが、動揺を隠しつつ、

「送られる言葉を練習中」との  
ことですが、カラオケにはよく行  
くのですか？

「カラオケ好きです。今はあま  
り行く機会が少なくなり残念で  
す。ただ、あまり聞かせるような  
な歌は歌いたくない訳ですよ。齊  
藤さんと同じで、ちょっと皮肉を  
込めたようなものが面白いなあ  
と思う。一曲めは「演歌血液ガッ  
タガタ」ですね。みんな血液型に  
は興味がある。それぞれの血液  
型に対する特徴が歌われている  
ので、反応を見て「あ、この人はB  
型だ」なんて分かるのが面白いで  
す」

けつえつき、ガッタガタ

…ってやつですね。思わぬ一面が  
見えました。さて、齊藤も結構好  
きなユキミンに関しては何？



「ひじょうきぐも」や「ルージュの  
伝言」…ずっと昔から好きです  
ね。最初はレコード盤、途中から  
はCD、「ノースайд」なんかはカ  
セットテープ版。でも後からまた  
CDで買い直したりしています。

しよっちゅううちではユキミン  
が流れていたんです。特に車で  
ね。もちろん子供たちも一緒に  
車に乗っているから、自然彼女た  
ちの耳にも入るわけです。今で  
も子供たちは普通にユキミンを  
口ずさむけれど、子供の友達は  
知らないみたい。「それ何の歌？」  
なんて。友達が知らないことに、  
うちの子供たちが逆にびっくり  
するくらい。うちではユキミンに  
どっぷり漬かっていますね。

最近娘にボーイフレンドができ  
て、その彼がミスチルのファンらし  
く、この頃はだいたいミスチルに侵食  
されつつあります(笑)」

ボーイフレンド…気が気じゃな  
いんではないですか？

「いや、それは全然構わないで  
す。自分たちだってかつてそうだっ  
たんだからね」

### はつねはつねと読む！

さて、本に関してお伺いしましよ  
う。チャンバラものだそうですが、  
藤沢周平やら池波正太郎やらのメ  
ジャーどころではない、通な作家  
がお好きなようですが…。

「僕は東京の下町の生まれなので  
すが、今回挙げた作家たちは、ま  
さに僕が生まれた辺りのことを書  
いてるんですね。自分が住んでいた  
町の名前がそのまま文に出てくる  
から、登場する侍や商人の動きが  
よく見える。すごく「立体的」に文  
章が見えるので、自分が主人公に  
なったように、町並みをイメージ  
して歩けるんです。

あとは、チャンバラのリアリテイ  
ですね。斬った斬られたの緊張  
感が伝わってきて、迫力がたまり  
ません。チャンバラの背景にある  
人間関係みたいなものの比重が  
大きすぎないから、読んでて楽  
なんです(笑)。

「週5冊以内」とのことですが、  
そう決めなければそれ以上読ん  
でしまつてどうですか？

「そうですね。うちの親父もす  
ごくよく本を読むんですが、僕  
が東京に行くときに『これを持って帰  
れ』と、本をどさっと渡される。  
それを僕がまた別の親戚へ渡し  
て…と、だいたい4人ぐらいの間  
で回つてます。最後は…古本屋と  
かに行くんじゃないかな(笑)。

とめどなく、本があれば読んで  
しまうし、供給元もどんどん供  
給してくるから(笑)。でもあま  
り読んではかりいても仕事に支  
障をきたすから、ペースを定めて  
います」

実は戦国ものが好きとのこと  
ですが、ひいきの武将なんかはい  
ますか？

「新陰流を大成した上泉伊勢  
守。忍城(おしじょう)城代の成  
田長親みたいな、マイナーだけど  
結構いい仕事したな、っていう武  
将の方が好きですね(笑)」

### 文化系と思いきや体育会系

週5冊…。遅読の齊藤としては  
羨ましい限りです。年間を通じて  
月1.5冊以上、って奴ですね。さ  
て、ここで先月の走友会のマラソ  
ンについてお聞きしましょう。

「そうですね。仕事なんかは長  
期のスパンでやることだから、達  
成感を得るのにも時間がかか  
る。でも、走るのはフルマラソ  
ンでも4時間ぐらい後には達成感  
が得られるわけですよ。そして  
今回の田沢湖は、仲間がいるとい  
うことのすこさを感じましたね。  
一人で走ってたら『まあいいか』と  
思っていたかもしれない。でも、  
仲間が頑張っていると思うと自  
分も頑張ろうと思うし、練習も  
頑張る気になる。その意味でも  
今回は、自分  
が完走してどうこうとどうより

も、みんなで達成した、というこ  
との嬉しさが大きいですね

「なるほど」。実体験として当事  
者から聞くのと重みがあります。  
いい話が聞けて、これで社内報と  
しての体面も保てそうです。完  
走した感想を…「なんてダジャレ  
も用意してましたが、不要でした  
ね。と」で、山登りの方もかな  
りなさるんでしょうか？

「もともとはマラソンよりも山  
登りをしていて、山岳部に所属し  
ていました。結婚して、子供がで  
きるくらいまでは山ばかりでし  
たが、さすがに子供ができてから  
「お父さんは山へ行くから」、  
日留守です」というのもよくない  
ので(笑)。だんだん山からは遠  
ざかっていたわけです。でも体を  
動かすのは好きなので、山へ登る  
ためにやっていたランニングが残  
つて。これなら大会に行つても1  
日で済むし、イベントを家族も楽  
しむことができます。そうしてマラ  
ソンにシフトしていったんです。で  
もこうして単身赴任が続いたの  
で、また山登りが復活しつつあり  
ますね(笑)」

### 阪野センター長のオススメ！

最後に、これについては今後イ  
ンタビューをさせてもらった方全  
員にお伺いしようと思つてるので  
すが、本でも音楽でも映画でも  
何でもいいので、ひとつ「これをみ  
んなにすすめたい！」というもの  
を教えてください。

「ひとつだけ挙げると言われる  
と困るね…。例えば高杉良なん  
かの、現代企業小説を読んだり  
しますが、その中で挙げると「青  
年社長」ですね。みなさんご存知  
のワタミブーズの社長の、実名小  
説です。学生の頃から社長にな  
る！と言っていた渡邊社長(現  
会長)の、今に至る道のりが描か  
れています。



『青年社長(上・下)』 高杉 良  
角川文庫 各680円

その話を学生だった上の娘にしたところ、興味を持ってね。彼女が成人した時に、一番最初に飲みに行ったのが、和民でした(笑)。今でも娘と和民の系列店へよく行きますが、それも店によって「ここは渡邊社長の精神が浸透している」「ここはダメ」なんてそれこそ和民のスーパーバイザーみたいな親子になってます(笑)「阪野センター長、お忙しい中ありがとうございました！」

阪野さんは、理知的でスポーツマンでもあるという方ということが分かりましたが、なんと言っても「阪野さんがご家族を大切にしている」「家族も阪野さんを信頼している」というのがインタビュをして一番印象に残ったこと。高杉良は普段読まないのですがこの本に関して言えば、でした。アンケートの内容からも、インタビューの内容からもそれぞれ

感じて頂けるかと思えます。

阪野さんは相当な読書家であるが故に、「オススメをひとつ」挙げることは悩んでいらつしやうたようですが、ともかくインタビュ後にさっそく本屋に行つて、「青年社長」を買つて読んでみました。上下2巻とはいえ、とてもスラスラと読めます。小難しいことはなく、回りくどい小説的表現も極力カットされているようで、どんどん話が展開して常に先が楽しみ、という本です。また齊藤が思うに、これは読み手側の器量が問われる本でもありません。ベンチャー企業として大躍進をしたワタミグループの創始者の足跡を淡々と辿るこの小説は、それによって読み手側に「何かを感じ取れ」と強要している部分があります。これを読んで「自分も頑張ろう!」でも、「いけない奴だな。ワタミのトップは」でも、「こうすれば金持ちになれるのか!」でも、どう感じるのも読み手の自由です。ですが、きつと誰にとつても何か得るところのある小説であると思えます。

カフェエートのCRF文庫に追加しておきますので、気になった方は是非読んでみてください。そして、阪野さんに感想を言ってみてください

改めて、阪野センター長、ご協力ありがとうございました。



去る9月20日に、田沢湖マラソンが開催されました!ご存知の方も多いと思いますが、(?!といつか、前述のセンター長インタビュで触れているのですが)、CRF走友会の5人が参加、見事全員完走を果たしました!

齊藤は取材に行った訳でもないのですが、僭越ながら聞きかじりの記事を書かせて頂きます。

さて、後の方の写真を見て頂いても分かる通り、当日は絶好の好天に恵まれたようですね。田沢湖マラソン参加者のブログなんかをインターネットで見ると、田沢湖マラソンは例年雨にたたられることが多かったようです。ここまで見事に晴れたっというのもすごいです。田沢湖の青、空の青、山並みの青が見事なコントラストを描いております。

近所で実は結構遠い田沢湖、メンバーは4時だの5時だのに出発したそうです。その時間を聞いただけで、マラソンとはなんとストイックな





見事完走を果たした走友会の面々！

娯楽だろう、と半ば呆れてしまう齊藤ですが、実際にマラソンが趣味の作家の「ツセイ」をか読んでみると、走ることの快感及び、走ったあとの「ビール」には、宗教体験にも似た特別の恍惚感があるようです。ランナーズ・ハイという言葉も有名ですし、先の阪野センター長のインタビューからもそのような「特別な感覚」がうかがえます。

男性陣は20kmコースを、女性陣は10kmコースを走ったとのこと。地図で見ると、およそ田沢湖1週&半周ですね…。あのでかい田沢湖の周り



を、そんなに走るわけですね…。ですが、この自然の中を駆け抜けるのは確かに気持ちよさそうです。鬱蒼とした木々が茂る湖畔を10kmも20kmも走ったら、さぞかし体中マイナスイオンで満たされることでしょう。メンバーの表情からもそれが感じ取れますねえ。メンバーにとつとて面白い思い出になったのではないかと思います。

齊藤はアマチュアランナーのためのマラソン大会がどんなものか、正直よく知らないのですが、大会の情報を見る限り、記録と



して公認されるようだし、サポート体制はしっかりしてるし、成績優秀者だけでなく様々な観点からの表彰がされるし、齊藤のイメージにちょっとあったような「お前ら勝手に走ったらいいじゃない」というものではないようですね。自然と一体になる爽快感、筋肉が躍動する喜び、自分との戦い、仲間と分かちあう感動、そして達成感。これはちょっと体験してみる価値があるかもしれないですね。

走友会のみなさん、お疲れさま&完走おめでとつございます！応援団のみなさんもご苦労辛苦了した！

「私も10kmくらいなら走れるかも…」と思った方は、販売代理・鈴木洋SVまでどうぞ



アウトドア部イベント  
バーベキュー

走友会と並ぶ、CRFのメインサークルと言えるアウトドア部。部署や役職の壁を超え、実に多くのサークル員を有するこのアウトドア部が第一回目の活動としてバーベキューを敢行しました！

CRFの紅の豚と齊藤としてはそこに肉があるということならば是非参加したかったのですが、ばつちり出勤日。また不参加イベントの記事執筆です。これでは書きようがないので、CRFの肉食系女子代表にしてアウトドア部長の長谷川SVと、販売代理チームでは「肉食系」というより、木の上において、どんぐりを食べてそう」と評される榎本さんにお話を伺いました。



大人も子供も上司も部下も、肉の前では平等

時は9月27日。場所は太平山リゾート公園のピクニックの森。家族連れの参加も多数あったようで、総勢40人弱！随分と集まったものです。

田沢湖マラソンと同じように、バーベキューイベントも素晴らしい秋晴れ。森の空気と秋の日差し。アルコールも出たということでしたし、無条件に楽しいイベントだったことでしょう。ちなみに齊藤は仕事でした。

「どんな肉を焼いたのでしょうか？」とお二人に聞いてみたところ、「いい肉です」「国産です」「部位はヒレです」との回答。…ほほう。それはあれですか。情報を小出

しにして、齊藤を羨ましがらせようという、見え見えの作戦ですね。そんな幼稚な手に齊藤が乗る訳が……  
…いいなあ。気になるなあ。うまそうだなあ…。

齊藤は仕事でした。

他に何を焼いたのだろうか、と伺ってみますと、なんとマシユマロを焼いたとのこと。マシユマロって焼くものだったのか。知らなんだ。今度齊藤も試してみます。

当日は「ちびっこ」たちも多数参戦したようで。榎本さんは



ジャイアンとしてちびっこの上に君臨し、統括指揮をとっていたとか。だてにどんぐりを貯めこんでいる訳じゃないようです。他方、色々な部署からSOMやSVも含めて多数の参加があったようで、年中無休のCRFではなかなかできない貴重なイベントだったと言えるでしょう。子供たちの笑い声が聞こえるようです。うらやましい。齊藤は仕(以下自粛)

アウトドア部はこれが初の活動でしたが、今後ウインタースポーツの季節を迎え、活動が活発化するでしょう。入部希望は一般・団体長谷川SVまでどうぞ



編集後記

0号を作ったときは「楽勝だな」と思ったのですが、本腰入れたらこれほど大変とは思いませんでした。こつこつのは好きではあるのですが、今までやったことがないし、インタビューしてテープおこしするなんて思いもしませんでしたし…。本当はもうちょっとやりたいこともありましたが、スペースの関係で断念しました。今回は慣れないこともあり、比較的まじめな内容になったと思いますが、次号からは「新聞部員」の力も借りて、全力でふざけていこうと思います。

(文責 齊藤)

別居の未婚の子は、年齢を問わず、補償の対象となります。



えっ!? 夫婦限定でもですか!?